

別記  
第1号様式（第14条関係）

### 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	令和 5年 7月 29日
京都市下京区塩小路通西洞院東入東塩小路町841番地の5	報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 医療法人財団康生会 理事長 武田 隆司

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	独自のシステム（自己宣言）
適 用 範 囲	武田病院グループ
導 入 年 月 日	1997年 12月 18日
認 証 番 号	
基 本 方 針	武田病院グループは、SDGs17の目標を活動に掲げ、保健・医療・福祉・介護及び関連活動の中で常に考慮し、生物と地球にやさしい、心がかよう、心が安らぐ豊かな社会環境の実現に貢献します。また、法規・法令を遵守するとともに経済、社会、環境関連団体における理念等を尊重し、組織的、継続的な改善と調和を推進します。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	SDGs活動を中心に職員、関係者の定期的な環境教育・BCP訓練等の活動を浸透させ、省エネルギー推進委員会を中心に活動し、「2050 CO2ゼロ」を視野に入れ、温室効果ガスの削減を目指す。サプライチェーン上の関係者と共に、グループの環境関連委員会を中心に物品購入時の省資源活動と共に廃棄物の削減、4Rの推進、CO2排出量の少ない車、機器の積極的な導入を推進する。環境広報は機関紙をはじめ、デジタルサイネージやホームページ等で積極的に行う。
目標を達成するための取組の内容	省エネルギー推進委員会にエネルギー管理士を配置し、省エネ活動を推進している。また、エネルギー管理専門家の派遣利用や国の省エネ事業を利用した高効率機器の導入等によりエネルギー利用の高効率化を図っている。サプライチェーン上の関係者を含め、物品購入時は環境購入を優先させ省資源活動と共に廃棄物の排出は計量と共に4Rを推進している。定期的な広報誌、ホームページ、デジタルサイネージ等によりSDGs活動と共に環境活動を報告している。
目標を達成するための取組の進捗状況	職員のSDGs教育、環境教育は全体的に進んでいる、代替フロン機器管理も理解されてきた。主病院でのLED照明の導入、老朽化した主要な熱源設備の取替えもほぼ完了している。DMコントローラの設置も完了している。現在、稼働率の高い小型熱源機器の更新、老朽化GHPからCOPの高いEHPへの変更、ガスボイラーからエコキュートへの変更等を進めている。グループ内の熱効率の低下したCGSに関しては、系統への調整電力供給事業に順次、参入している。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	グループ内での環境負荷の高いガス（EOG、笑気、フロン22）の削減は計画的に実施できた。代替フロンの管理を始め、CO2削減は計画的な省エネ機器の導入、旧式ガス熱源機器からCOPの高い電気式機器への入替、LED照明の導入、人感センサーの利用等より削減できた、また、ライトダウンキャンペーンへの参加、エネルギー管理専門家による省エネ提案の実施等、行政からの助言も得ながら、省エネを実施できた。
事業活動に係る法令の遵守の状況	法規、条例の変更、改定等による対応は環境マニュアル、環境エネルギー管理規定、環境法規管理規定と環境法規管理要領書・環境法規管理チェック表、機器管理表に基づいて管理を行っており、特に問題はない。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	法規・条例の改訂、組織変更によるマニュアル、規定の改定、見直しを定期的実施している、職員全体に対してはデジタルサイネージ・年報・NETを利用した環境報告を実施している。BCPマニュアルによる地下浸水、地震災害、防災・危機管理への設備導入は部分訓練を通して見直し、非常用発電機の管理方法の改善等、取り組みは少しずつ前進している。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。